

その取引価格、適正ですか？

価格転嫁の必要性が“どのくらい”かみえる！

価格転嫁検討ツール

商品別の収支状況を把握

数値を入れ替えて検証

目指すべき取引価格を試算

Webで
簡単

登録
不要

無料

※ツールのご利用はパソコン(PC)からお願いします。

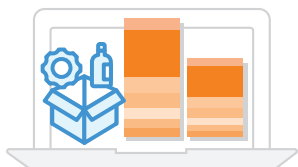


価格転嫁検討ツールとは

仕入れ・材料費や人件費、水道光熱費等のコスト増加分を価格に反映させたい
中小企業・小規模事業者の皆様が商品別(取引先別)の収支状況も確認しながら、
目指すべき取引価格を検討できるシミュレーションツールです。

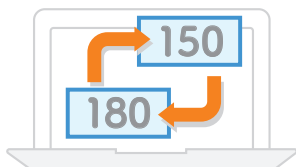
商品別(取引先別)の 収支状況を把握

売上高とコスト(仕入れ・材料費、人件費、水道光熱費等)を入力すると、コスト高騰前後の商品別の収支状況を確認できます。



数値を 入れ替えて検証

各コストの比率や金額を入れ替えて様々なシミュレーションをすることにより、収支に大きく影響しているコスト及びその構造を見える化します。



目指すべき 取引価格を試算

コスト高騰前後の経費に着目し、目指すべき取引価格(参考価格)を試算します。価格転嫁の必要性や検討すべきポイントを把握し、次の具体的なアクションにつなげます。



予告

本ツールの第2弾(バージョンアップ版)を公開します!(2025年2月末頃予定)

複数商品の収支を比較し、目標価格を把握できます。また、原価管理や管理会計導入のきっかけになります。

お問い合わせ

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

<https://kakakutenka.smrj.go.jp/>

価格転嫁 中小機構

検索

※ツールのご利用はパソコン(PC)からお願いします。



Be a Great Small.
中小機構

価格転嫁の必要性や検討すべきポイントを把握し、 次の具体的なアクションにつなげます。

ツールの特長

- ✓ 商品別のコスト内訳を正確に把握していなくても収支状況の概況把握が可能！
- ✓ 収支に大きく影響しているコストを見える化し、コスト高騰前と現在とを比較分析！
- ✓ 価格高騰前の仕入れ・材料費比率等を基に、目指すべき取引価格(参考価格)を試算！
- ✓ おひとりでも簡単に操作が可能！

入力・検討の流れ

○ ご用意いただくもの 「コスト高騰前」・「現在」の損益計算書 分析対象とする“個別の商品または取引先別”の「コスト高騰前」・「現在」の売上高、各コストの情報

○ サイトにアクセス <https://kakakutenka.smrj.go.jp> 価格転嫁 中小機構 検索

① コスト高騰前の情報入力

コスト高騰前の情報を入力し、コスト高騰前の「会社全体」と「個別の商品または取引先別」の収支状況を把握します。

② 現在の情報入力

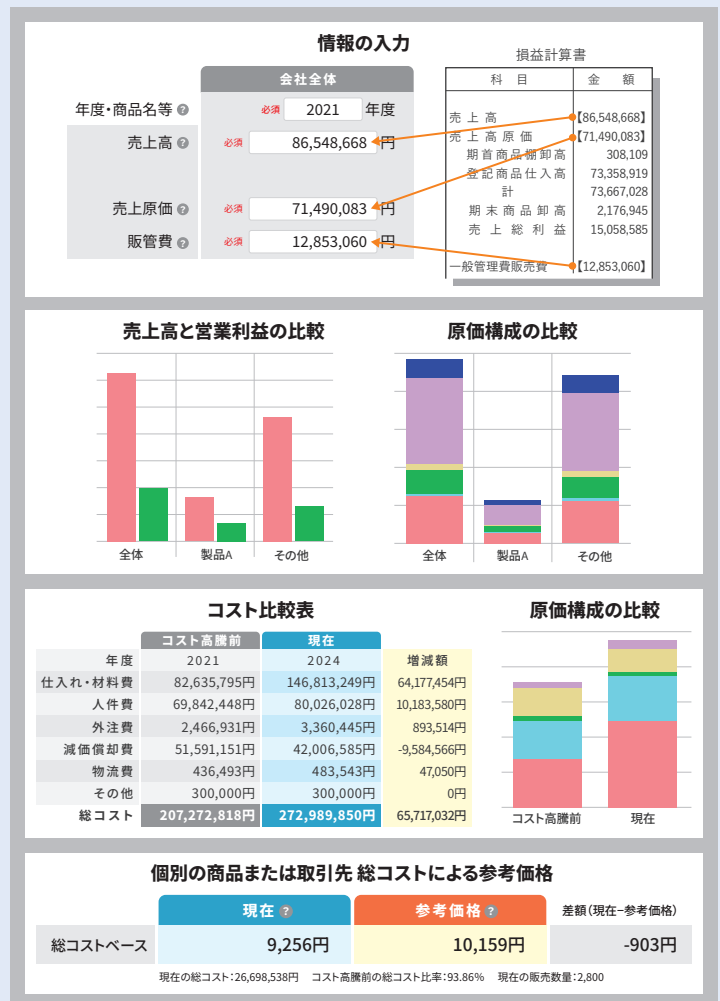
コスト高騰後(現在)の情報を入力し、現在の「会社全体」と「個別の商品または取引先別」の収支状況を把握します。

③ コスト高騰の影響の確認

コスト高騰前後の会社全体の「総コスト」を比較、原価構成比較グラフから各コストの動向を確認します。

④ 参考価格の確認

目指すべき取引価格(参考価格)を確認し、価格転嫁またはコスト低減を検討します。



利用条件・ご注意

- 本ツールのご利用はパソコン(PC)からお願いします。
- 掲載の画面はイメージです。実際の仕様とは異なる場合があります。
- 詳細な操作マニュアルは、本サイト(<https://kakakutenka.smrj.go.jp>)からダウンロードできます。